

農山漁村地域整備計画に係る事前評価

計画の名称 : 広島県農業農村活性化プラン（第2期）

計画策定主体 : 広島県

| 評価項目 | 評価の視点 | 判定 |
|--------------|--|----|
| ① 目標の妥当性 | 関連する計画との整合性が図られているか 広島県農林水産行政の基本指針となる「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン」（以下「チャレンジプラン」）では、「産業として自立できる農林水産業の確立」を最大の目標として掲げ、次の項目等について集中して取り組むこととしており、整合性は図れている。 <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積と次世代につなぐ農地の維持・管理 ・地域農業をけん引する経営力の高い担い手の育成 ・農山漁村地域の暮らしの安全・安心の確保 | ✓ |
| | 地域の課題に適切に対応する目標となっているか 【地域の課題】 担い手への農地集積割合が低く、経営規模が小さいことから、担い手の規模拡大を進めるとともに、地域の核となる経営力の高い担い手が生産の大部分を担う生産構造へ転換することが必要となっている。 また近年の異常気象による局地的な豪雨等や施設の老朽化による機能低下などにより、農村地域が被害を受けるリスクが高まっており、防災減災対策に向けた取組が急務となっている。 【対応する目標】 産業として自立できる農業の確立に向け、地域農業をけん引する経営力の高い担い手の育成等に取り組むとともに、農村地域の防災機能を高める防災対策や被害の発生を低減させる減災対策を実施することで農村地域の暮らしの安全・安心の確保を図ることとしており、地域の課題に適切に対応する目標に設定としている。 | ✓ |
| ② 整備計画の効果効率性 | 整備計画の目標と定量指標の整合性がとれているか 産業として自立できる農業の確立と農村地域の暮らしの安全・安心の確保を目標として設定しており、その目標に応じた定量的指標を位置付けていることから、整合性は図れている。 | ✓ |
| | 事後評価ができる適切な指標となっているか 各定量指標数値については、毎年度定量的に把握可能であり、事後評価を実施する時においても、各定量指標数値は的確に把握できるものとなっている。 | ✓ |
| | 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか 各定量指標については、構成事業を実施することにより得られる効果となっており、適切な指標設定となっている。 | ✓ |
| ③ 整備計画の実現可能性 | 円滑な事業執行の環境が整っているか 各構成事業は地域における要望を踏まえ、県・市町・JA等の営農担当部局とも協議し、さらにチャレンジプランとの整合が確認されたものである。 | ✓ |
| | 地元の機運が醸成されているか 構成事業は地域起点を前提としており、地域における将来のめざす姿を実現するため必要な事業として要望されているものである。 | ✓ |